

阿南安芸自動車道 ^の ^ね 野根 ^{あぐら} ~ 安倉

第4回 説明資料

平成30年11月2日

国土交通省 四国地方整備局

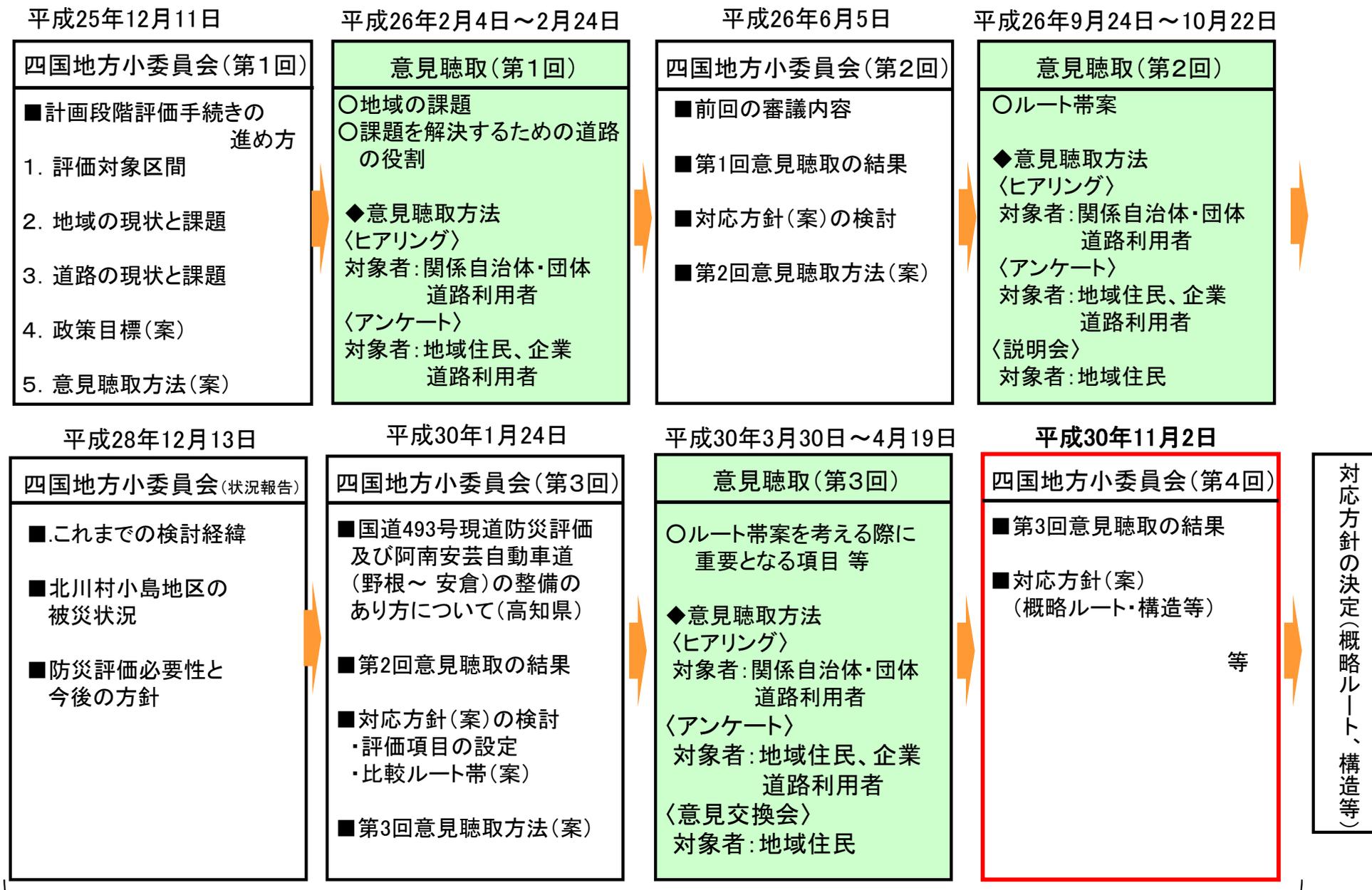
目次

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)	・・・ 2
2. 前回までの概要	・・・ 4
3. 前回の審議内容	・・・ 7
4. 第3回意見聴取の結果	・・・ 9
5. 対応方針(素案)の検討	・・・ 23
6. 自治体への意見照会結果	・・・ 33
7. 対応方針(案)のまとめ	・・・ 37

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

1. 計画段階評価の進め方・スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。



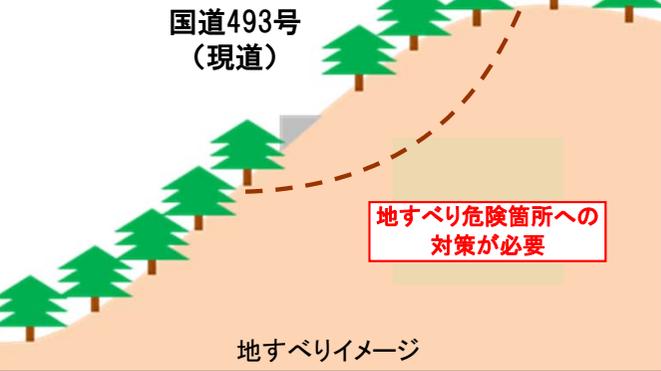
地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

2. 前回までの概要

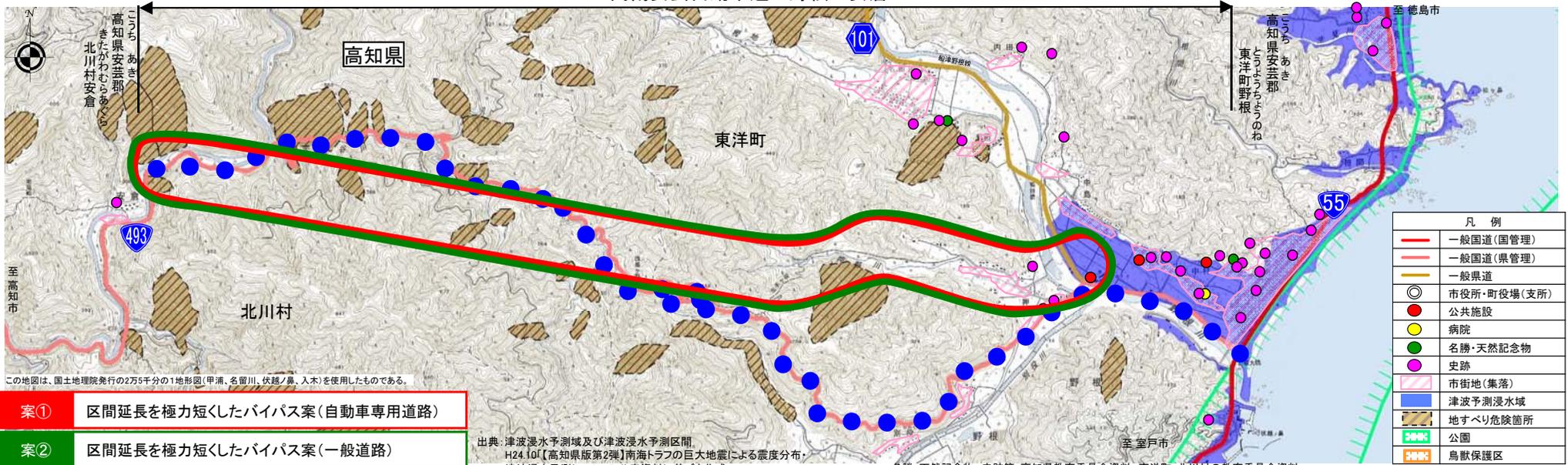
2. 前回までの概要(対応方針(案)の再検討:一般道路のバイパス案を追加)

- 第2回意見聴取の結果、案①の区間延長を極力短くしたバイパス(自動車専用道路)案が対応方針(案)として妥当であった。
- しかし、高知県の防災評価により、当該地域には複数の地すべり危険箇所・防災上危険な箇所の存在が確認された。
- 125cc以下の自動二輪車等の自動車以外の交通は、複数の地すべり危険箇所・防災上危険な箇所の存在する現道部を利用せざるを得ず課題が残る。
- 全ての交通が安全に利用するためには、自動車専用道路の整備に加え、現道部の防災対策(対策費用約200億円)を必要とすることから、道路整備に多大な時間・費用を要する事になる。
- 125cc以下の自動二輪車なども通行可能であり、現在の国道493号の防災対策費用が削減できる、新たなルート帯案(一般道路のバイパス案)を加え、再度アンケートを実施することとした。



2. 前回までの概要(対応方針(案)の再検討:一般道路のバイパス案を追加)

阿南安芸自動車道 野根～安倉



- 案①** 区間延長を極力短くしたバイパス案(自動車専用道路)
- 案②** 区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)
- 案③** 現道改良案(一般道路)

出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間
 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について「公表資料に基づき作成
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)

名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区:当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設

対応策の考え方		案① 区間延長を極力短くしたバイパス案(自動車専用道路)	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)	案③ 現道改良案(一般道路)
評価項目		延長 約9km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約9km 60km/hで走行できる一般道路(2車線)	延長 約15km 40km/hで走行できる一般道路(2車線)
政策目標	南海トラフ地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道55号及び国道493号の代わりとして利用できる(125cc以下の自動二輪車などは通行不可)	国道55号の代わりとして利用できる(125cc以下の自動二輪車なども通行可)	国道55号の代わりとして利用できる(125cc以下の自動二輪車なども通行可)
	走行性の向上による生活環境の改善	豪雨時に利用できる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車などは通行不可〕	豪雨時に利用できる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車なども通行可〕	豪雨時に利用できる
	走行性の向上により産業振興を支援	安全で安心な利用ができる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車などは通行不可〕	安全で安心な利用ができる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車なども通行可〕	安全で安心な利用ができる
	地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	市場までの輸送時間短縮・商品の品質確保(急カーブや幅員狭小等の影響) 観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる(案②③より優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる(案③より優れる)
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響 影響の可能性はあるが小さい	動物への影響 影響の可能性はあるが小さい	動物への影響 影響の可能性はあるが小さい
	生活環境	植物への影響 影響の可能性はあるが小さい	植物への影響 影響の可能性はあるが小さい	植物への影響 影響の可能性はあるが小さい
		集落・田畑などへの影響 大きい	集落・田畑などへの影響 大きい(案①より小さい)	集落・田畑などへの影響 小さい
		大気質及び騒音等の影響 影響の可能性はあるが小さい	大気質及び騒音等の影響 影響の可能性はあるが小さい	大気質及び騒音等の影響 影響の可能性はあるが小さい
その他	重要な史跡等への影響 影響の可能性はあるが小さい	重要な史跡等への影響 影響の可能性はあるが小さい	重要な史跡等への影響 影響の可能性はあるが小さい	
事業期間	整備に要する期間 やや長い	整備に要する期間 短い	整備に要する期間 長い	
	経済性	整備に要する費用 約550～600億円	整備に要する費用 約400～450億円	整備に要する費用 約250～300億円
	現道対策	国道493号の防災対策期間 長い 〔現道全線で対策 案③より短い〕	国道493号の防災対策期間 短い 〔集落へのアクセス路のみ対策 案①③より短い〕	国道493号の防災対策期間 長い 〔現道全線で対策〕
	国道493号の防災対策費用 約200億円	国道493号の防災対策費用 約10億円	国道493号の防災対策費用 約150億円	

3. 前回の審議内容

第3回四国地方小委員会の概要

■実施日

平成30年1月24日(水)

■主な議題

- ①第2回意見聴取の結果
- ②対応方針(案)の検討
- ③対応方針(案)の再検討
- ④第3回意見聴取方法

第3回四国地方小委員会での主な指摘事項と対応状況

指摘事項	対応状況
「早く開通すること」は、事業化後、整備に必要となる時間について聞いていることが分かるよう表現を工夫すること。	工事着手後の整備期間であることが分かるよう「整備に要する期間が短いこと」という表現でアンケート用紙を作成。
政策目標の項目と道路整備に配慮する項目は分けて意見聴取をすべき。	「ルート帯を考えるうえで重要と考える事項」「ルート帯を考えるうえで配慮すべき事項」の2つの質問に分けてアンケート用紙を作成。

4. 第3回意見聴取の結果

4. 第3回の意見聴取の結果(意見聴取の実施概要)

○意見聴取は、意見交換会及びアンケート調査、ヒアリング調査を以下のとおり実施した。

	対象者	実施期間	回収方法	実施概要	回答状況
意見交換会	地域住民	平成30年 4月13日(金)	グループ ミーティング	東洋町の住民の方	参加者:26人
		平成30年 4月17日(火)		北川村の住民の方	参加者:45人
アンケート調査	地域住民	平成30年 3月30日(金) ～ 4月19日(木)	郵送回収	東洋町、北川村の全世帯に配布 (東洋町:1382世帯、北川村:582世帯)	回答数:589票 (回収率:30.0%)
	企業等	平成30年 3月30日(金) ～ 4月19日(木)	郵送回収	東洋町、北川村の全事業所に配布 (東洋町:133事業所、北川村:44事業所)	回答数:66票 (回収率:37.3%)
	道路利用者	平成30年 3月30日(金) ～ 4月19日(木)	郵送回収 ヒアリング時回収	海の駅東洋町、道の駅キラメッセ室戸、道の駅田野駅屋、道の駅大山で配布	回答数:627票 [郵送 :89票 ヒアリング時:538票]
	道路利用者 (WEB)	平成30年 3月30日(金) ～ 4月19日(木)	WEB上で回収	土佐国道事務所及び高知県のHP上にアンケートを掲載	回答数:26票
ヒアリング調査	自治体及び 団体代表者	平成30年 3月26日(月) ～ 5月10日(木)	インタビュー形式 でのヒアリング	【自治体】 東洋町、北川村、室戸市、安芸市、安田町、田野町、奈半利町、馬路村 徳島県、阿南市、海陽町、牟岐町、美波町 【各団体等】 商工会、消防署、警察署、バス事業者、農協、漁協、 観光協会、医療関係、郵便局、 県・市町村から地域代表として推薦いただいた地域の活動団体	【自治体】 13自治体 【各団体等】 23団体
	道路利用者	平成30年 4月 7日(土)		【道の駅等の利用者】 海の駅東洋町、道の駅キラメッセ室戸、道の駅田野駅屋、道の駅大山	538人

4. 第3回意見聴取の結果(ヒアリングの実施状況)

○自治体や各団体及び道路利用者へインタビュー形式でのヒアリングを実施した。

▼自治体や各団体へのヒアリング状況

○室戸市消防署東洋町出張所
平成30年4月11日（水）



○野友郵便局
平成30年4月17日（火）



○北川村社会福祉協議会・はちきん連合
平成30年4月18日（水）



○高知県東部観光協議会
平成30年4月25日（水）



▼道路利用者のヒアリング状況

○海の駅東洋町
平成30年4月7日（土）



○道の駅キラメッセ室戸
平成30年4月7日（土）



○道の駅田野駅屋
平成30年4月7日（土）



○道の駅大山
平成30年4月7日（土）



4. 第3回意見聴取の結果(意見交換会の開催状況)

- 意見聴取の実施にあたり、地域住民の方などを対象として、野根～安倉間の「地域の利便性も考慮し、125cc以下の自動二輪車など自動車以外も安全に通行できることが重要だと思うか」や「望ましいルート帯を考える際に、重要となる項目・配慮すべき項目」について話し合う意見交換会を開催した。
- 意見交換会の開催にあたっては、案内チラシの配布等により地域住民などへの周知を図った。

▼意見交換会の開催概要

地域	開催場所	開催期間	開催時間	来訪者数	
東洋町	東洋町役場	平成30年4月13日(金)	18:30～19:30	26名	合計 71名
北川村	北川村民会館	平成30年4月17日(火)	18:30～19:30	45名	

▼意見交換会の周知

阿南安芸自動車道 野根～安倉 における道路計画に関する意見交換会

道路計画に関してどなたでも参加できる
意見交換会を開催します!

意見交換会(自由参加)の実施について

実施内容 地域や国道493号(野根～安倉)道路を整備する際に「125cc以下の自動二輪車など自動車以外も安全に通行できることの重要性」「ルート帯(案)を検討する際に重視する項目」について、自由に意見を言うことができる「意見交換会」を開催します。

開催日時 平成30年 4月13日(金曜日) 18:30～

開催場所 東洋町役場

アクセスマップ

【住所】高知県安芸郡東洋町生見 758-3

【お問い合わせ先】 高知県土木部 道路課 TEL 088-823-9830
土佐国道事務所 調査課 TEL 088-885-4830
東洋町 産業建設課 TEL 0887-29-3395

▼意見交換会開催状況

○東洋町意見交換会
平成30年4月13日(金)



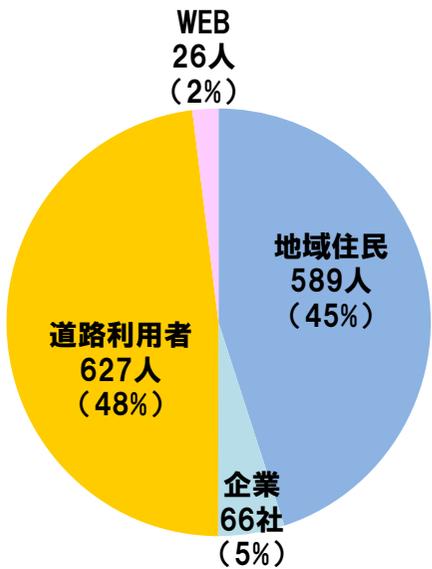
○北川村意見交換会
平成30年4月17日(火)



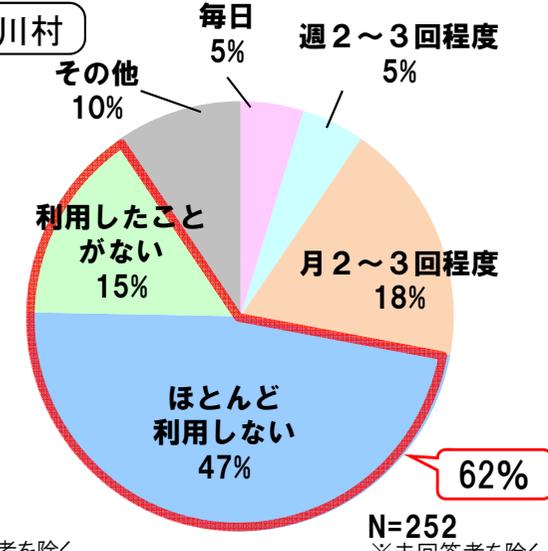
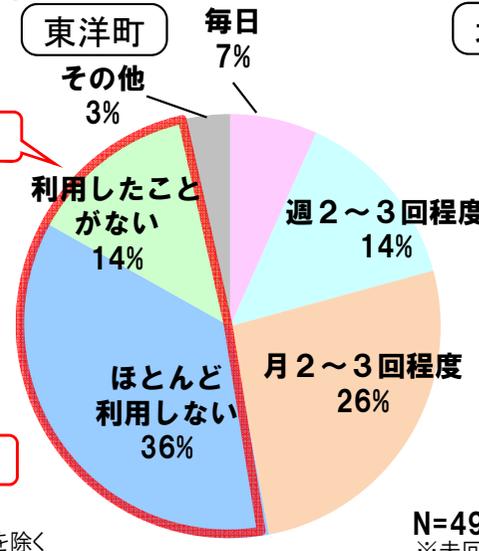
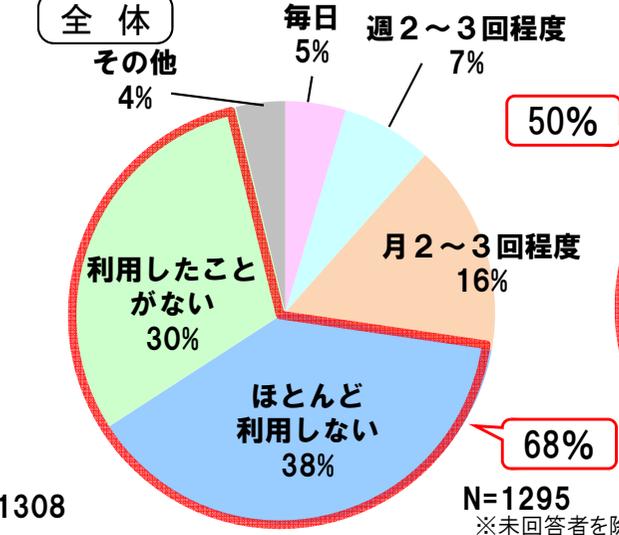
4. 第3回意見聴取の結果(アンケート結果:回答者の属性)

- 地域住民589人、企業等66社、道路利用者627人、WEB26人から回答をいただいた。
- 回答者の約6割が、対象地域である東洋町、北川村に居住(企業等は所在地)。
- 回答者の約7割が、国道493号 野根～安倉間を「ほとんど利用しない」、「利用したことがない」と回答。
- 利用目的は、「観光・レジャー」が約5割、「仕事・通勤・通学」が約3割、「家事・買い物」が約1割と多様な状況。

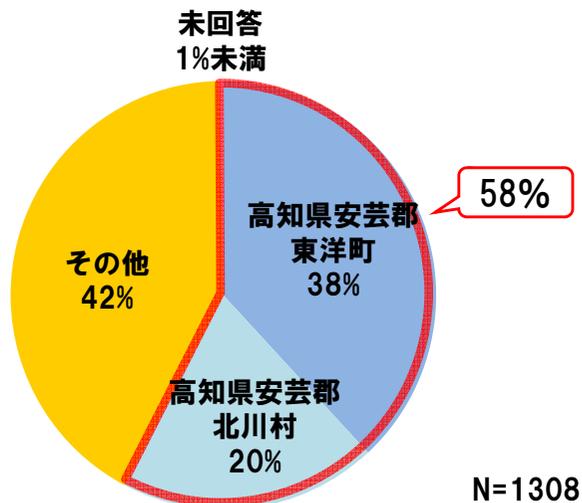
▼アンケート回収結果



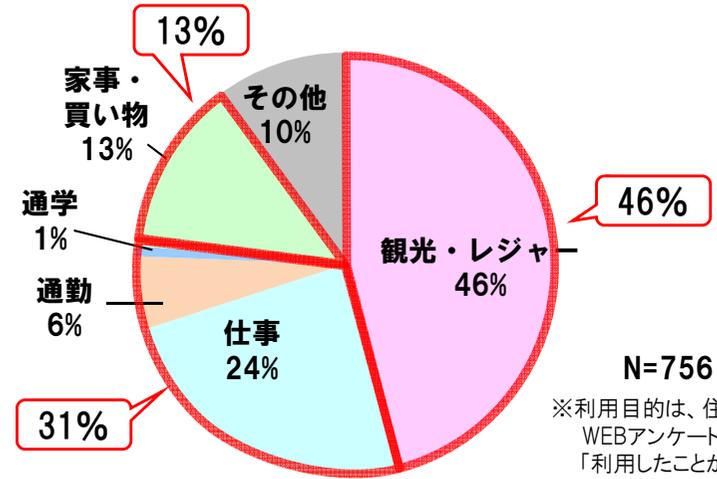
▼国道493号 野根～安倉間の利用頻度



▼回答者住所



▼利用目的



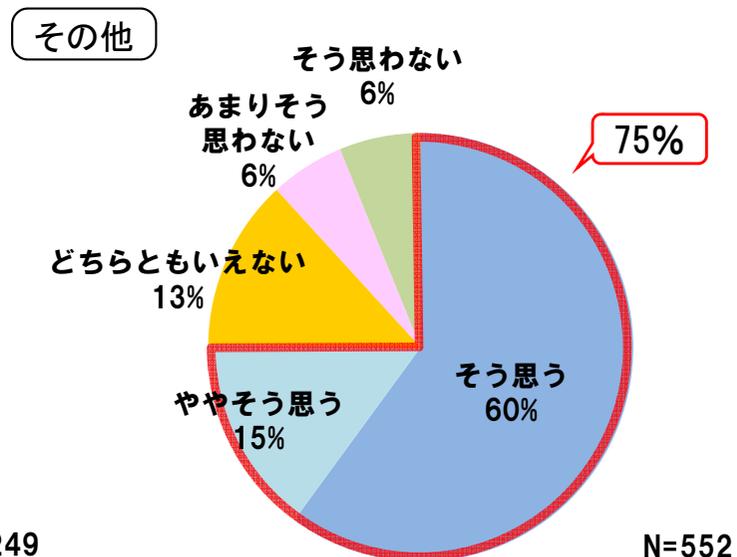
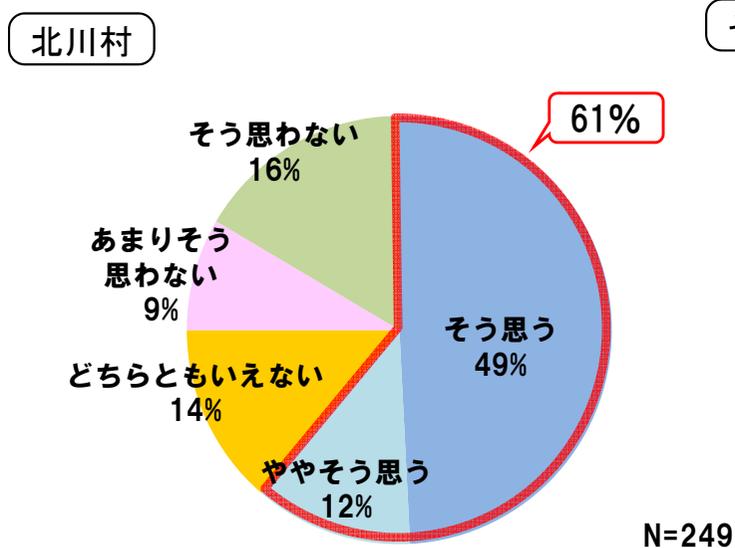
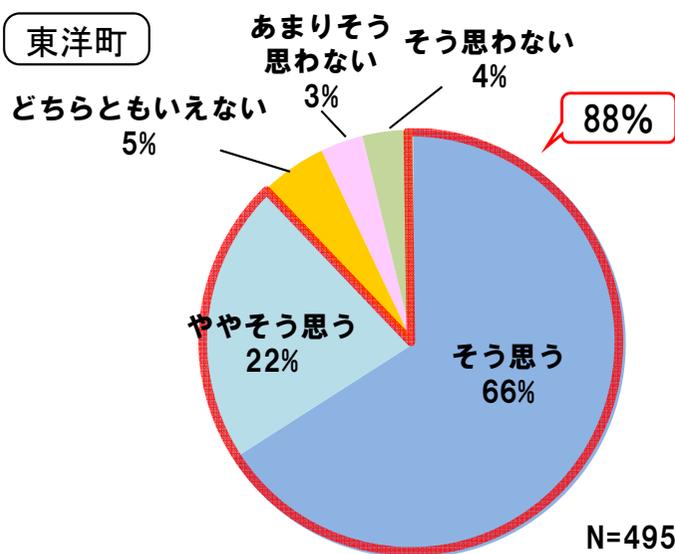
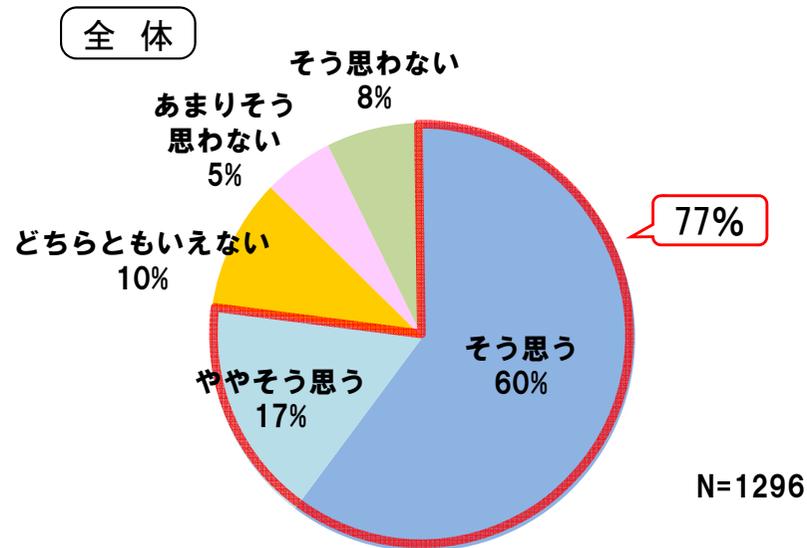
※利用目的は、住民用・道路利用者用・WEBアンケート回答者を対象とし、「利用したことがない」と回答された方以外を対象とする。

4. 第3回意見聴取の結果(アンケート結果:125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行) 15

(1) 125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行について

- 回答者の7割以上の方が、125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行できることを重要と思われている。
- 地域別では、東洋町で9割、北川村で6割の方が、125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行できることを重要と思われている。

問1:地域の利便性も考慮し、125cc以下の自動二輪車など自動車以外も安全に通行できることが重要だと思いますか？



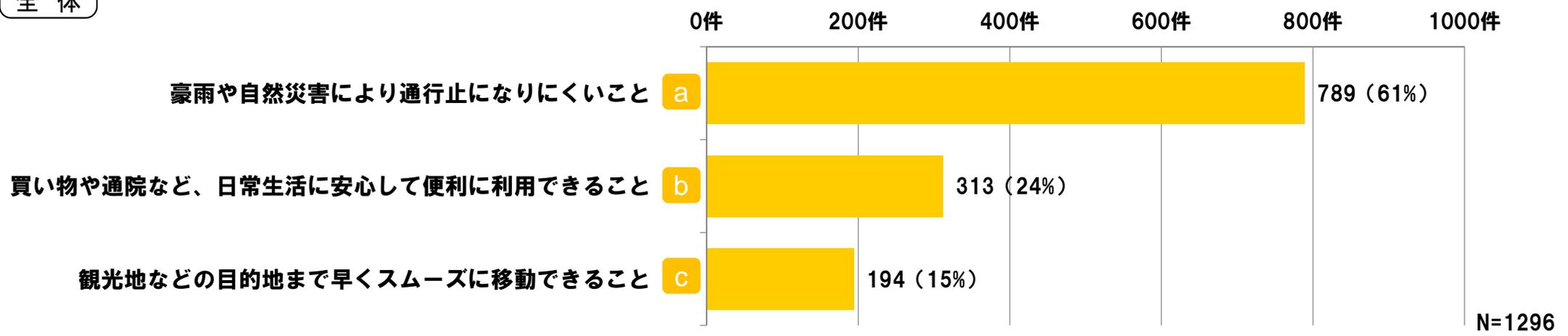
4. 第3回意見聴取の結果(アンケート結果:ルート帯案を考える際に重要と思う項目) 16

(2) 望ましいルート帯案を考える際に、重要と思う項目について

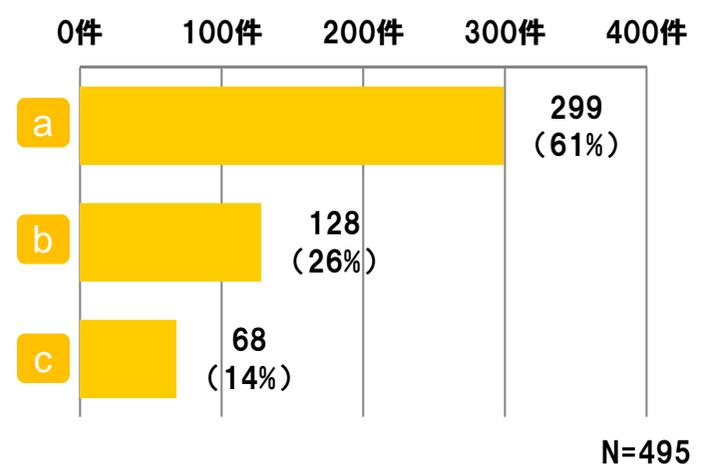
○重要と思う項目では、「**a** 豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」が最も重要とされている。
 ○地域別においても、「**a** 豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」が最も重要とされており、意見に大きな違いは見られなかった。

問2-1: 野根～安倉間の望ましいルート帯を考える際に、以下のうちどれが最も重要だと思いますか? ※項目 **a** ~ **c** の中から1つ選ぶ

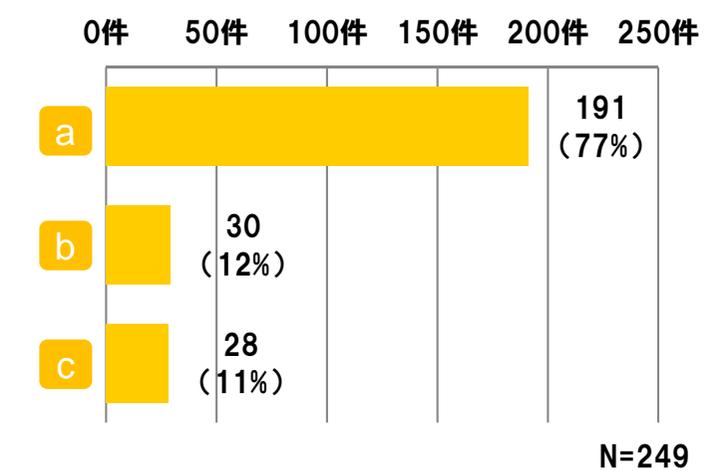
全体



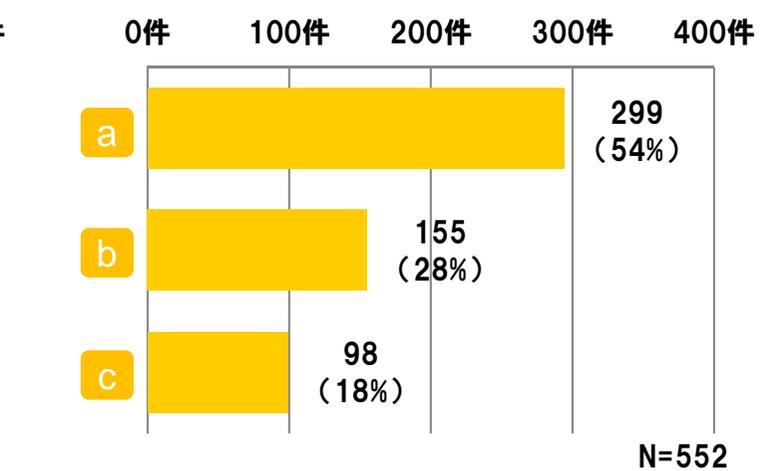
東洋町



北川村



その他



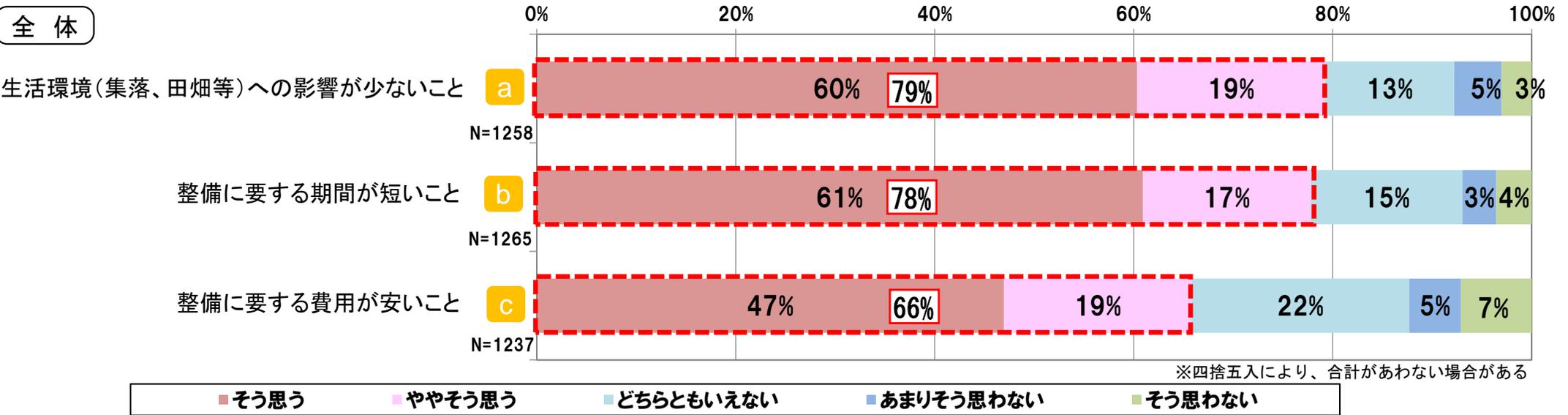
4. 第3回意見聴取の結果(アンケート結果:ルート帯案を考える際に配慮すべき項目) 17

(3) 望ましいルート帯案を考える際に、配慮すべき項目について

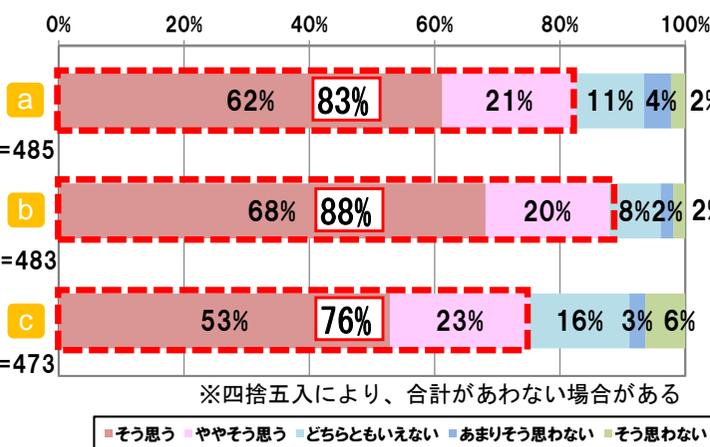
- すべての項目において、回答者の6割以上の方が配慮すべきと思われる。
- 地域別においては、当該地域の東洋町・北川村では「**b** 整備に要する期間が短いこと」に特に配慮すべきと思われる。

問2-2: 野根～安倉間の望ましいルート帯案を考える際に、以下の配慮すべき事項についてどう思いますか？ ※項目 **a** ~ **c** のそれぞれについて5段階で評価

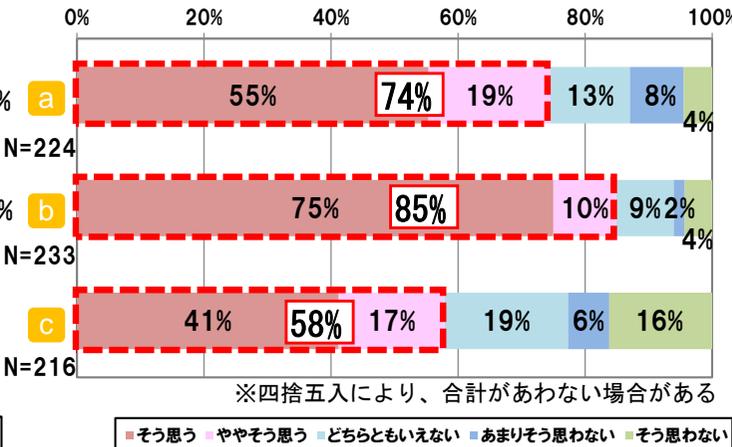
全体



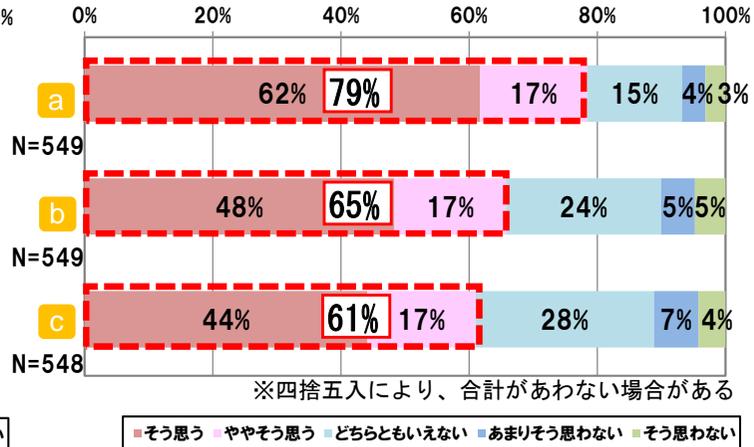
東洋町



北川村



その他



4. 第3回意見聴取の結果(アンケート結果:その他自由意見)

(4) 国道493号 野根～安倉間の道路整備等について

○「早期の道路整備」、「災害に強い(通行止めになりにくい)道路」、「安全・安心な道路」を求める意見が多く寄せられた。

問3:その他、国道493号 野根～安倉の道路整備等について、あなた自身が日頃から思う事など、ご意見やご要望をご自由にお書きください。

主な意見		項目	自由意見
0件	50件	100件	
早期整備(開通)	92件	早期整備(開通)	■ 早く道路整備をしてほしい 。前に何回か通ったが二度と通りたくない。(60代 男性) ■ 奈半利町から東洋町までの間の 一体的な早期整備 。(40代 男性)
落石等が発生しない安全な道路の整備	61件	落石等が発生しない安全な道路の整備	■ 土砂崩れのしないような安全な道路 であれば良い。(30代 女性) ■ 地形が険しいので、 安全に通行できる道路 を作ってほしい。(60代 男性)
災害に強く、通行止めになりにくい道路の整備	36件	災害に強く、通行止めになりにくい道路の整備	■ 大雨後は通行止めになることが多い。 自然災害に強い道路にすべき 。(70代 男性) ■ 台風や大雨の時の移動経路の確保が重要 だと思う。(50代 男性)
片側二車線等、道幅の広い道路の整備	33件	片側二車線等、道幅の広い道路の整備	■ 自動車専用道路で、 片道2車線 であることが望ましい。(40代 女性) ■ 道が広い方が安全で良い 。(30代 男性)
自動車専用道路での整備	33件	自動車専用道路での整備	■ 年配の人のバイクが危ないから、 車専用が良い 。(10代 男性)
カーブや起伏の少ない、走行しやすい道路の整備	30件	カーブや起伏の少ない、走行しやすい道路の整備	■ 運転しやすい見晴らしの良い道 になれば良い。(30代 女性) ■ 車で走行していて、走りにくさを感じるので、 走りやすくなれば良い 。(70代 男性)
地震・津波に備えるため必要との意見	25件	地震・津波に備えるため必要との意見	■ 津波の際の大きな避難道 になってくれることが望ましい。(50代 女性) ■ 南海トラフ時に 地域住民を安全に輸送出来る道路整備 が必要。(30代 男性)
早くスムーズに移動のできる道路の整備	25件	早くスムーズに移動のできる道路の整備	■ 新しい道により、 少しでも時間が短くなると良い 。(30代 女性) ■ 徳島南部から高知へ来る人の 時間短縮になるので便利になる 。(20代 男性)
現道の維持管理に関する意見	23件	現道の維持管理に関する意見	■ 現在の493号線は暗くて危険なので 明るくしてほしい 。(30代 男性)
国道55号、493号の迂回路として利用可能な道路の整備	19件	国道55号、493号の迂回路として利用可能な道路の整備	■ 何か起きた時、一本の道しかないよりは、 バイパス等を作ってどちらかは通れるようにした方が良い かもしれない。(40代 男性)
道路整備に対する期待意見	19件	道路整備に対する期待意見	■ 新しくできたら もっと利用する 。(70代 男性)
地域の活性化を図ることができる道路の整備	16件	地域の活性化を図ることができる道路の整備	■ バイパスを作って一般道にした方が良いと思う 地元の人も便利だろうし、 観光で来るのにも通りやすい道 なら足を伸ばしてみたくなるかもしれない。(50代 女性)
建設費用の安い道路の整備	16件	建設費用の安い道路の整備	■ 無駄なお金のかけ方がない ようにしてほしい。(50代 男性)
道路整備を不要とする意見	9件	道路整備を不要とする意見	■ 国道が寂れてしまいそう 。(50代 女性)
一般道路での整備	8件	一般道路での整備	■ バイクも通れる一般道にする方が皆が使えて良い と思う。(50代 女性)
休憩施設を備えた道路の整備	5件		
生活環境への影響が少ない道路の整備	4件		
自然や景観に配慮した道路の整備	4件		
道路整備を諦めている	2件		

※その他 34件「別区間への要望」、「現在までの経緯」などに関する意見

4. 第3回意見聴取の結果(ヒアリング結果:125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行) 19

(1) 125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行について

- イベントでの活用等を考慮して、一般道路での整備を望む意見を多数頂いた。一方、125cc以下の自動二輪車等の混在による交通安全性を危惧する意見を頂いた。
- 一般道路、自動車専用道路へのこだわりはないが、早期開通可能な道路整備を望む意見を多数頂いた。

<主な意見>

項目	意見
一般道路での整備	<ul style="list-style-type: none"> ■自動車専用道路とした場合、125cc以下の自動二輪車等の自動車以外は現道を利用し続けるのがネック。せつかく、新たに道路整備するのであれば、歩行者や自転車等も通れるようにすべき。(馬路村) ■トライアスロン等のイベントを行っている。一般道の整備だと、イベント等に利用の幅が広がられる。(室戸市観光協会) ■自転車も通行可能な道路であればイベント等が開催できるかもしれない。(東洋町観光振興協会) ■大きな荷物以外は、山間部であっても基本は原付で配達しているため、一般道路での整備が有り難い。(野友郵便局) ■北川村の大部分の方は軽トラを利用しているが、一部原付を利用している方もいるのではないか。そのことを思うと、原付の通行可能な道路整備が必要。(安芸警察署) ■パシフィックライドという自転車イベントを年に1回開催している。イベント利用という観点から、一般道で整備してほしい。(高知東部観光協議会)
自動車専用道路での整備	<ul style="list-style-type: none"> ■125cc以下も利用出来た方が便利だと思う。農家の多くは軽トラを利用しているが、一部の方が原付で畑まで移動している。(JA土佐あき北川支所) ■地元の人の生活道という観点では125cc以下の自動二輪車が通行可能になれば使いやすくなるのではないか。(海陽町)
早期開通可能な道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ■原付も走行すると、事故の危険性は高くなると思う。(室戸消防東洋町出張所) ■徳島側との連携、観光ツアー等の売り込みを考えると移動時間が読みやすい自動車専用道路、高速移動が可能な80km/hでの整備のほうが誘致しやすい。(安芸市観光協会)
早期開通可能な道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ■60km/h・80km/hは問わないので、安心して走行できる道の早期整備が最重要。(中芸地区商工会) ■高速道路、一般道路は問わないので、早期整備を最優先にしていきたい。(東洋町社会福祉協議会) ■自専道、一般道のこだわりはないが、早期の整備をお願いしたい。(室戸警察署) ■阿南安芸自動車道の早期開通が第一優先なので、第2案の整備で問題ない。(北川村社会福祉協議会) ■東洋町～奈半利の通行には、60km/hで十分ではないか。走行速度より、早期に開通可能な道路計画を目指してほしい。(東洋町商工会)
	<ul style="list-style-type: none"> ■原付等の利用については特にこだわりはない。早期に開通可能な道路整備を優先すべきと感じている。(室戸市消防本部) ■安芸郡から高知市内への距離を考えると、本当は80km/hで走行できるようにすべきであるが、一番望むものは早期整備及び事業費を安くすることである。(安田町)

4. 第3回意見聴取の結果(ヒアリング結果:ルート帯案を考える際に重要と思う項目) 20

(2)望ましいルート帯案を考える際に、重要と思う項目について

○「**a** 豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」、「**b** 買い物や通院など、日常生活に安心して便利に利用できること」が重要との意見が最も多く寄せられた。

<主な意見>

項目	意見
<p>a 豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと</p> <p>【22団体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■東洋町や室戸市にも支所があるので、通行止めにならない道が必要。(JA土佐あき) ■東洋町から通っている職員がいるが、通行規制区間で帰れないことがある。通行止めにならない道が必要。(室戸市観光協会) ■物流が止まらないように、通行止めにならない道路が必要。(北川村ゆず王国(株)) ■通行止め時は、配達先に許可をもらって配達を遅らせる必要がある。通行止めにならない道路が必要。(野友郵便局) ■国道493号は落石が多く安心して走行できない。国道55号は台風時期は越波で通行出来ない。通行止めにならない道が重要。(中芸地区商工会) ■甲浦まで運行しているが、雨量規制で帰れないことがある。翌日のバス台数の不足や職員の労働環境悪化に繋がっている。(高知東部交通)
<p>b 買い物や通院など、日常生活に安心して便利に利用できること</p> <p>【15団体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■高齢者の方が多い地域なので、高齢者の方も走りやすい道路が必要。(田野病院) ■今の国道493号はとても走りにくい道なので、走りやすい道路整備をお願いしたい。(東洋町観光振興協会) ■一般車両等のすれ違いで困っている。安全に走行できる道にしてほしい。(芸東森林組合) ■社会福祉協議会のデイサービスで利用者の送迎のため、国道493号を利用しているが、落石等で通行するのが不安。安全な道路の整備を望む。(はちきん連合) ■国道493号はやはり危なくて通りにくいため、安全な道がほしい。(東洋町)
<p>c 観光地などの目的地まで早くスムーズに移動できること</p> <p>【9団体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■阿南市、室戸市、安芸市で観光協定(AMA)を結んでいる。高知県東部・徳島西南部が連携しやすい道路が必要。(安芸市観光協会) ■観光客の時間短縮に繋がる道路である必要がある。(高知東部交通) ■青果の鮮度を考えると道路整備による効果は大きく、スムーズに移動できれば良い。(北川村) ■関西圏へのアクセスが向上する道路整備をしてほしい。(安芸市)
<p>国道55号、国道493号の代替りとなる道路</p> <p>【10団体】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■今の国道55号、国道493号だけでは不安なので代替路になる道が必要。(室戸市観光協会) ■地震が起きたら東洋町は陸の孤島になるので、救援救助に来てくれる道の整備が重要。また、地震時は国道55号も国道493号も通行出来なくなり、逃げ場がなくなる。被災時に、避難可能な道路が必要。(東洋町社会福祉協議会) ■災害時に機能する道路が必要であり、より早く整備する必要がある。(室戸市)

4. 第3回意見聴取の結果(ヒアリング結果:ルート帯案を考える際に配慮すべき項目) 21

(3) 望ましいルート帯案を考える際に、配慮すべき項目について

○「**b** 整備に要する期間が短いこと」に配慮すべきとの意見が最も多く寄せられた。

<主な意見>

項目	意見
a 生活環境(集落、田畑等)への影響が少ないこと 【6団体】	<ul style="list-style-type: none"> ■生活環境に大きな影響がないように配慮してほしい。(野友郵便局) ■田舎町を目当てに観光に来る方もいる。生活環境にあまり影響のないように配慮が必要。(高知東部交通) ■農業で生活している地域のため、畑への影響が少なくなるように配慮してほしい。(JA土佐あき北川支所)
b 整備に要する期間が短いこと 【26団体】	<ul style="list-style-type: none"> ■消防、救急のことだけを考えると現場に直ぐに駆けつけられる80km/hが良いが、南海トラフ地震がいつ起こるかわからないので早期整備可能な60km/hの整備が良い。(室戸消防東洋出張所) ■早期整備が最優先事項。60km/hの道路でも問題ない。(北川村ゆず王国株) ■高齢化、過疎化が進んでいる地域なので、早期整備が可能なルートにしてほしい。(中芸広域連合消防本部) ■南海トラフ時に使える道を早期に整備することが第一だと思う。(中芸広域連合) ■災害に強く早期開通できることが重要だと考える。(牟岐町)
c 整備に要する費用が安いこと 【8団体】	<ul style="list-style-type: none"> ■次の世代の負担になるので、無駄に良いものを作る必要はない。(中芸広域連合) ■できるだけ安く、早くできる道路整備が良い。(奈半利町) ■ネットワークをつなげるというポイントで考えると、できるだけ早く、安いほうがいい。(田野町)
自然環境への影響 【2団体】	<ul style="list-style-type: none"> ■農業観光(1日体験)を進めており、あまり自然を壊さないように配慮してほしい。(安芸市観光協会) ■山間部での業務になるので、自然環境に配慮した行動を実施している。同様に、あまり自然環境を破壊しないように配慮してほしい。(高知東部森林組合)
その他 【6団体】	<ul style="list-style-type: none"> ■交通量が増えると思うので、通学路への配慮をお願いします。(東洋町社会福祉協議会) ■野根～安倉が開通すると、国道493号の交通量増加に伴い事故が増加すると思う。救急時にUターン可能な整備にしてほしい。(室戸消防東洋町出張所) ■道路ができるのは数十年後になる。今の世代の要望よりも、次の世代が使いやすい道路を考えて整備が必要。(田野病院) ■景観にマッチした道路としてほしい。(高知東部観光協議会) ■一般道で整備される場合は、歩行者や自転車への安全対策をお願いしたい。(室戸警察署)

4. 第3回意見聴取(意見交換会)

- 東洋町・北川村にて、各地域住民を対象とした意見交換会を開催。合計71名の住民に参加いただいた。
- 早期開通可能な道路整備を望む意見を多数頂いた。

(1) 125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行について

項目	意見
早期開通可能な道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ■少しでも早く道路整備が必要である。2案での整備が最も早く整備できるのなら一般道路での整備で構わない。(東洋町住民) ■自動車専用道路、一般道路は問わないので、早期開通を望む。(北川村住民)
一般道路での整備	<ul style="list-style-type: none"> ■歩行者も利用可能な道路整備を望む。(北川村住民)
自動車専用道路での整備	<ul style="list-style-type: none"> ■四国全体のネットワークを考えた時には、やはり自専道での整備が望ましい。(東洋町住民)

(2) 望ましいルート帯案を考える際に、重要と思う項目について

項目	意見
a 豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと	<ul style="list-style-type: none"> ■東洋町は、国道55号も国道493号も通行止めになり陸の孤島になる。通行止めにならない道路整備が必要。(東洋町住民)
b 買い物や通院など、日常生活に安心して便利に利用できること	<ul style="list-style-type: none"> ■国道493号は落石が多く安心して通行出来ない。安心して利用可能な道路がほしい。(北川村住民)
c 観光地などの目的地まで早くスムーズに移動できること	<ul style="list-style-type: none"> ■北川村は物流に時間がかかっている。道路整備により時間短縮できれば生産性も向上する。(北川村住民)

(3) 望ましいルート帯案を考える際に、配慮すべき項目について

項目	意見
a 生活環境(集落、田畑等)への影響が少ないこと	<ul style="list-style-type: none"> ■あまり家屋がない地域だと思うが、立ち退きが多いと道路整備の意味が無いので配慮が必要。(東洋町住民)
b 整備に要する期間が短いこと	<ul style="list-style-type: none"> ■東洋町は高知県・徳島県のどちらとも孤立しているので、早期に道路整備が必要。(東洋町住民) ■過疎化が進んでいるため、早期整備を望む。(北川村住民)
c 整備に要する費用が安いこと	<ul style="list-style-type: none"> ■初期費用だけでなく維持管理費用へ配慮することを望む。次世代に負担が掛からないようにしなければならない。(東洋町住民) ■自治体の負担も増えると思うので、費用へ一定の配慮が必要。(北川村住民)

5. 対応方針(素案)の検討

5. 対応方針(素案)の検討(政策目標と複数のルート帯案)

- 当該地域の道路の現状・課題及び防災評価を踏まえ、第1回意見聴取で確認のとれた『政策目標』を達成するための役割を有する道路整備の対応方針(案)(複数のルート帯案)を設定。
- 対応方針(案)(ルート帯案)の検討にあたっては、南海トラフ地震への対応、日常的な利用にあたっての信頼性・安全性、速達性・走行性、自然環境・生活環境の保全と調和、経済性等への配慮等を考慮。

【政策目標】

①南海トラフ地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保	②走行性の向上による生活環境の改善	③走行性の向上により産業振興を支援	④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援
-----------------------------	-------------------	-------------------	-------------------------

【ルート帯検討にあたって考慮すべき評価項目】

○ルート帯の検討にあたっては、南海トラフ地震への対応、日常的な利用にあたっての信頼性・安全性、速達性・走行性に加え、自然・生活環境の保全と調和、経済性等に配慮し検討する。

《政策目標を達成するために考慮する評価項目》

<p>南海トラフ地震への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時に、国道493号の代わりとして利用できること 	<p>日常的な利用にあたっての信頼性・安全性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪雨や自然災害により通行止にならないこと ・買い物や通院など日常的に安心して利用できること 	<p>速達性・走行性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場及び観光地などへの速達性、走行性に優れていること
---	--	--

《道路整備に際し配慮する評価項目》 ※全事業対象項目

<p>自然環境・生活環境の保全と調和</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全のため、動植物の生息域への影響等が少なくなるよう配慮する ・沿線住民の生活環境保全のため、市街地(集落)を分断しないように配慮するとともに、地域の重要な施設(主要施設、公園等)を回避 	<p>経済性等への配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済性に優れている道路構造(土工(切土、盛土))を基本とするとともに、建設に要する期間を極力短くする
--	---

案① 区間延長を極力短くしたバイパス案

区間延長を極力短くしたルートで、自動車専用道路を整備する案
(延長 9km 速度 80km/h 2車線)

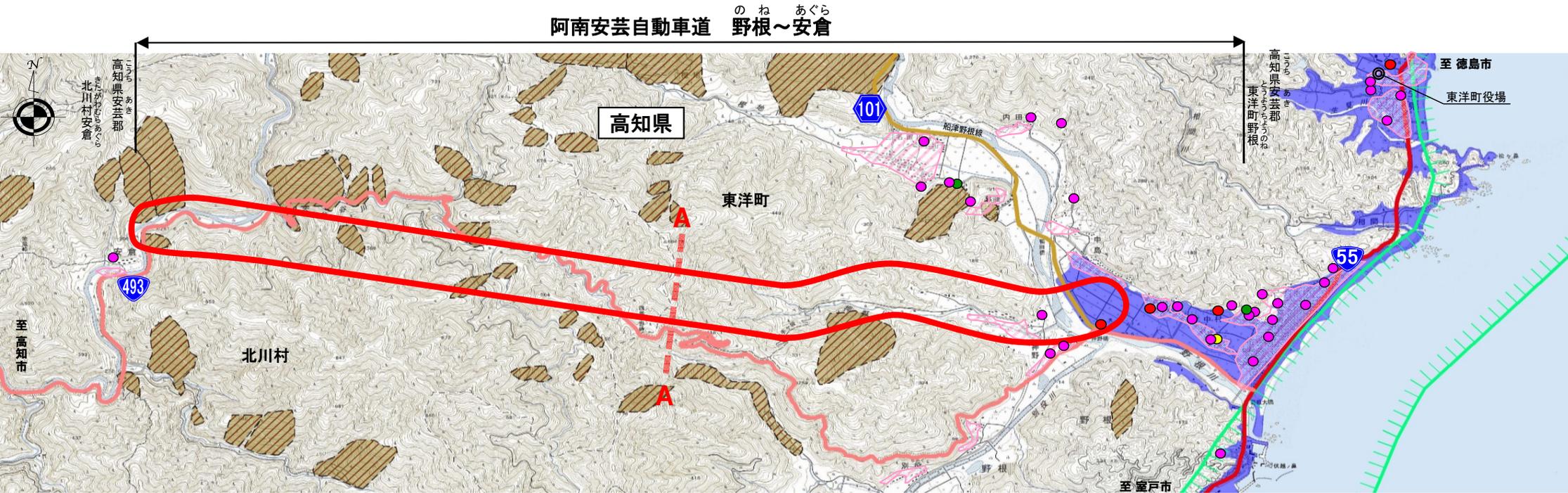
案② 区間延長を極力短くしたバイパス案

区間延長を極力短くしたルートで、一般道路を整備する案
(延長 9km 速度 60km/h 2車線)

案③ 現道改良案

現状の国道493号の防災対策や道路幅を拡幅する案
(延長 15km 速度 40km/h 2車線)

○案① 区間延長を極力短くしたバイパス案(自動車専用道路)

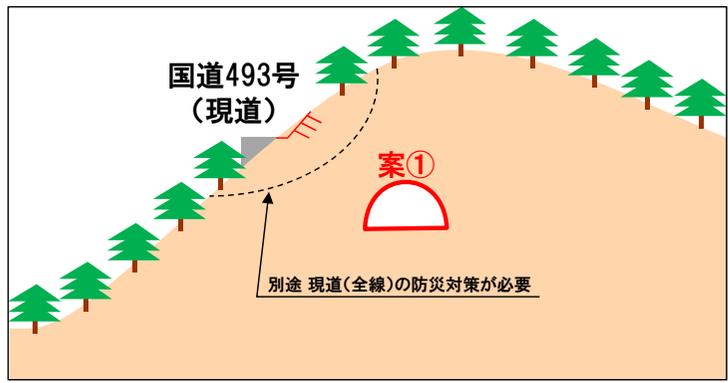


■整備概要

整備概要	延長 約 9 km 速度 80 km/h 2車線 (自動車専用道路)
------	---

コスト	約 550 ~ 600 億円 (ただし現国道の防災対策に約200億円が必要)
-----	---

〈A-A 付近のイメージ〉



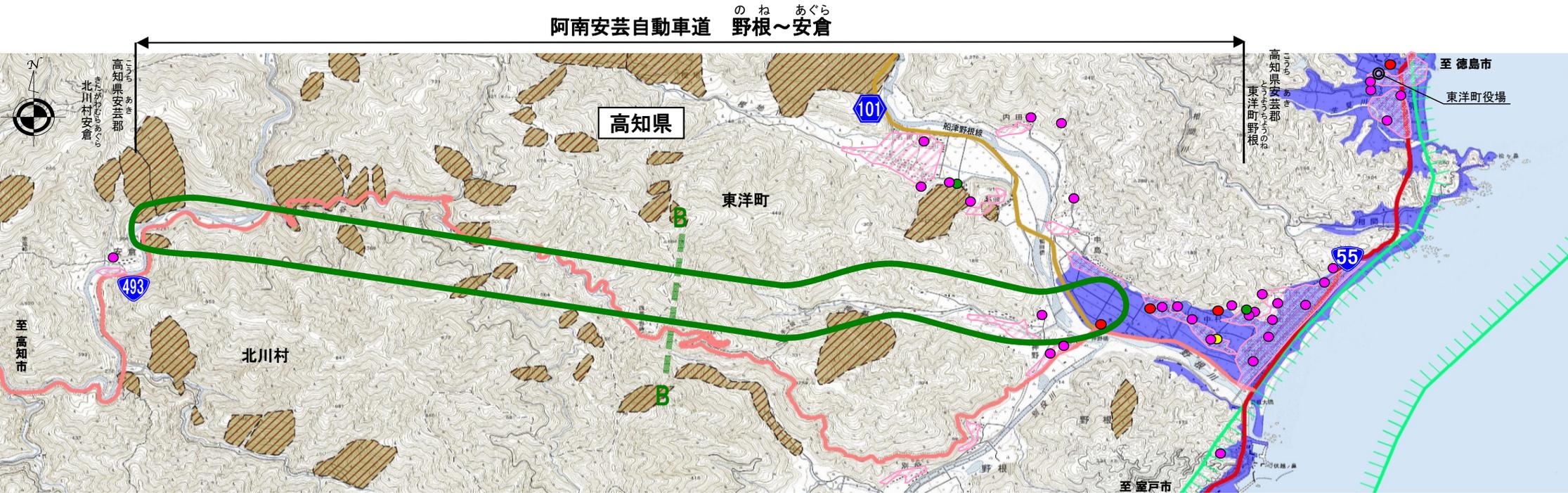
凡 例			
—	一般国道(直轄国道)		市街地(集落)
—	一般国道(補助国道)		津波予測浸水域
—	一般県道		地すべり危険箇所
 	市役所・町役場(支所)		公園
●	公共施設		鳥獣保護区
●	病院		
●	名勝・天然記念物		
●	史跡		

出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について(公表資料に基づき作成)
 名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区:当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)

■ルート帯の概要

内容	・区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造等を採用し、新たな自動車専用道路を整備する
----	--

○案② 区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)



■整備概要

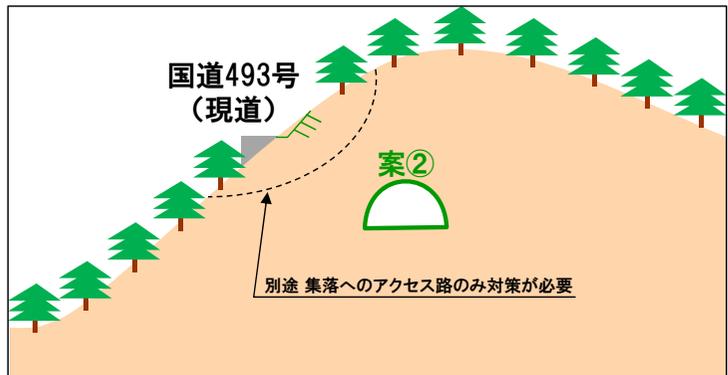
整備概要

延長 約 9 km
 速度 60 km/h
 2車線
 (一般道路)

コスト

約 400 ~ 450 億円
 (ただし現国道の防災対策に約10億円が必要)

〈B-B 付近のイメージ〉



凡 例			
— (Red)	一般国道(直轄国道)	□ (Pink)	市街地(集落)
— (Pink)	一般国道(補助国道)	□ (Blue)	津波予測浸水域
— (Yellow)	一般県道	□ (Brown)	地すべり危険箇所
○ (White)	市役所・町役場(支所)	□ (Green)	公園
● (Red)	公共施設	□ (Orange)	鳥獣保護区
● (Yellow)	病院		
● (Green)	名勝・天然記念物		
● (Purple)	史跡		

出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について(公表資料に基づき作成)
 名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区:当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)

■ルート帯の概要

内容

・区間延長を極力短くしたルートで、トンネル構造等を採用し、新たな一般道路を整備する

○案③ 現道改良案(一般道路)



■整備概要

整備概要

延長 約 15 km
 速度 40 km/h
 2車線
 (一般道路)

コスト

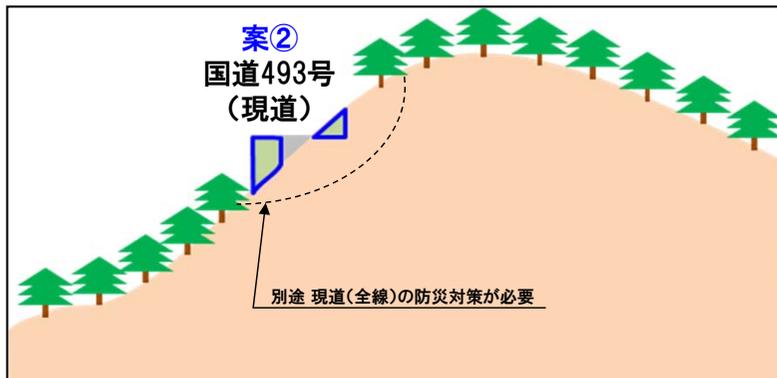
約 250 ~ 300 億円
 (ただし別途 防災対策に約150億円が必要)

■ルート帯の概要

内容

- ・現状の国道493号の防災上危険な箇所及び道路幅を改良する
- ・防災上危険な箇所の防災対策及び道路幅の拡幅(全線2車線整備)を実施する

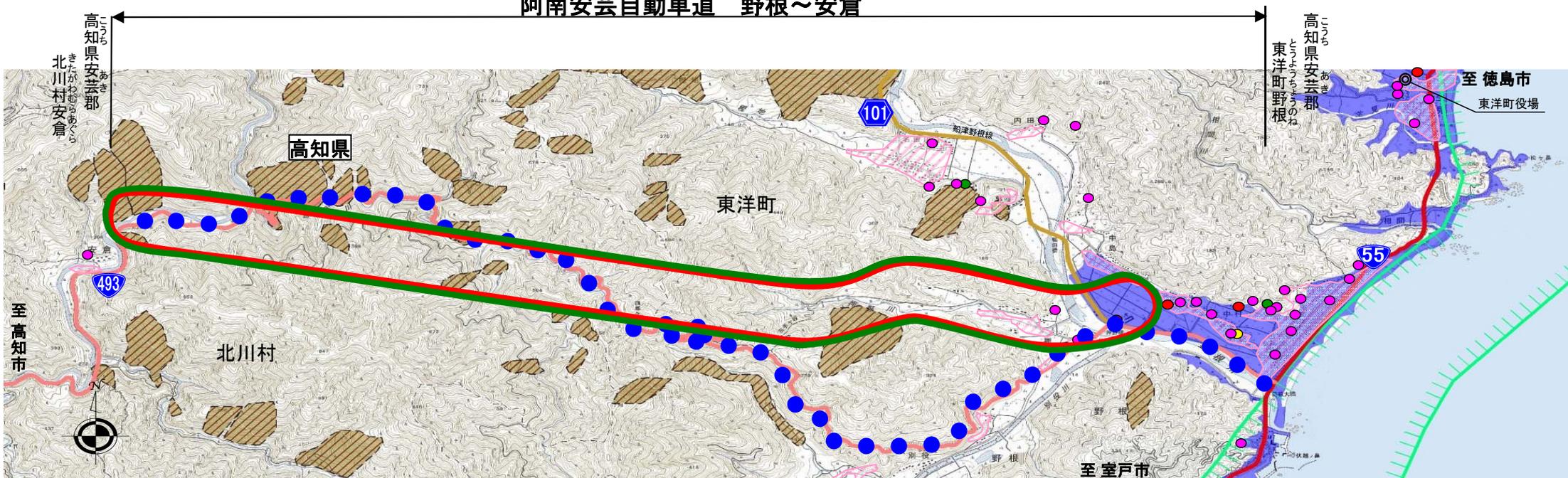
〈C-C 付近のイメージ〉



凡例		
— (Red line)	一般国道(直轄国道)	市街地(集落)
— (Pink line)	一般国道(補助国道)	津波予測浸水域
— (Yellow line)	一般県道	地すべり危険箇所
◎	市役所・町役場(支所)	公園
● (Red)	公共施設	鳥獣保護区
● (Yellow)	病院	
● (Green)	名勝・天然記念物	
● (Pink)	史跡	

出典:津波浸水予測域及び津波浸水予測区間
 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成
 名勝・天然記念物、史跡等:高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区:当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設:学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)

阿南安芸自動車道 野根～安倉



凡例

- 案①** 区間延長を極力短くしたバイパス案(自動車専用道路)
- 案②** 区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)
- 案③** 現道改良案(一般道路)

	一般国道(直轄国道)		史跡
	一般国道(補助国道)		市街地(集落)
	一般県道		津波予測浸水域
	市役所・町役場(支所)		地すべり危険箇所
	公共施設		公園
	病院		鳥獣保護区
	名勝・天然記念物		

出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間
 H24.10「高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区：当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設：学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。
 (承認番号 平30四複、第32号)

5. 対応方針(素案)の検討(ルート帯の概要)及び比較

○案②は、案①③に比べ、全ての政策目標の達成が見込めるほか、地域への意見聴取結果で重要との意見が多く寄せられた、「125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行できること」、「豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」、「生活環境(集落、田畑等)への影響が少ないこと」、「整備に要する期間が短いこと」という点で優れている。

対応策の考え方		案① 区間延長を極力短くしたバイパス案 (自動車専用道路)	案② 区間延長を極力短くしたバイパス案 (一般道路)	案③ 現道改良案 (現状の国道493号の防災対策や道路幅を拡幅する案) (一般道路)	
評価項目		延長 約9km 80km/hで走行できる自動車専用道路(2車線)	延長 約9km 60km/hで走行できる一般道路(2車線)	延長 約15km 40km/hで走行できる一般道路(2車線)	
政策目標	南海トラフ地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保	国道55号及び国道493号の代替機能	国道55号及び国道493号の代わりとして利用できる (125cc以下の自動二輪車などは通行不可)	国道55号の代わりとして利用できる (125cc以下の自動二輪車なども通行可)	
	走行性の向上による生活環境の改善	豪雨時の利用(通行止めの影響)	豪雨時に利用できる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車などは通行不可〕	豪雨時に利用できる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車なども通行可〕	豪雨時に利用できる
		日常的に安全で安心な利用(落石、急カーブ等の影響)	安全で安心な利用ができる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車などは通行不可〕	安全で安心な利用ができる 案③より優れる 〔125cc以下の自動二輪車なども通行可〕	安全で安心な利用ができる
	走行性の向上により産業振興を支援	市場までの輸送時間短縮・商品の品質確保(急カーブや幅員狭小等の影響)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる (案②③より優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる (案③より優れる)	輸送時間の短縮や商品の品質確保が見込まれる
	地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援	観光地への立寄り箇所や滞在時間の増加(広域的な時間短縮等)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる (案②③より優れる)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる (案③より優れる)	時間短縮により、立寄り箇所や滞在時間の増加が見込まれる
配慮すべき事項	自然環境	動物への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
		植物への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
	生活環境	集落・田畑などへの影響	大きい	大きい (案①より小さい)	小さい
		大気質及び騒音等の影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい
重要な史跡等への影響	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい	影響の可能性はあるが小さい		
その他	事業期間	整備に要する期間	やや長い	短い	長い
	経済性	整備に要する費用	約550～600億円	約400～450億円	約250～300億円
	現道対策	国道493号の防災対策期間	長い 〔現道全線で対策 案③より短い〕	短い 〔集落へのアクセス路のみ対策 案①③より短い〕	長い (現道全線で対策)
国道493号の防災対策費用		約200億円	約10億円	約150億円	

○地域住民・企業等へアンケート及び団体等へのヒアリングの結果

【125cc以下の自動二輪車などの自動車以外の安全な通行について】

- ・アンケートでは約7割以上の方、ヒアリングでは12団体が「125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行できること」を重要と思われる。

【望ましいルート帯案を考える際に、重要と思う項目について】

- ・アンケートでは、「豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」(61%)が最も重要と思われる。
- ・ヒアリングでも、「豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」(22団体)が重要と思われる。

【望ましいルート帯案を考える際に、配慮すべき項目について】

- ・アンケートでは、「生活環境(集落、田畑等)への影響が少ないこと」(79%)、「整備に要する期間が短いこと」(78%)に配慮すべきと思われる。
- ・ヒアリングでは、「整備に要する期間が短いこと」(26団体)に配慮すべきと思われる。

【その他】

- ・意見聴取全般において、「早期整備(開通)」(92件)、「落石等が発生しない安全な道路の整備」(61件)、を求める意見が非常に多く寄せられた。



○ルート帯案の考え方

【ルート帯案の考え方】

- ・国道55号、国道493号の代わりとして、豪雨や自然災害に強く、125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行することができる一般道路としてのバイパス案とする。
- ・道路整備の際は、生活環境(集落、田畑等)への影響を極力少なくし、早期整備を目指すものとする。

○地域の課題である南海トラフ地震による津波および落石等の土砂災害発生時に、国道55号及び国道493号の代わりとして、地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救援活動のアクセスを確保するとともに、125cc以下の自動二輪車等も含め利用可能とすることで走行性の向上による生活環境を改善、産業振興及び観光振興を支援することができ、早期整備が可能な「案② 区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)」とする。



凡 例			
	一般国道(直轄国道)		市街地(集落)
	一般国道(補助国道)		津波予測浸水域
	一般県道		地すべり危険箇所
	市役所・町役場(支所)		公園
	公共施設		鳥獣保護区
	病院		
	名勝・天然記念物		
	史跡		

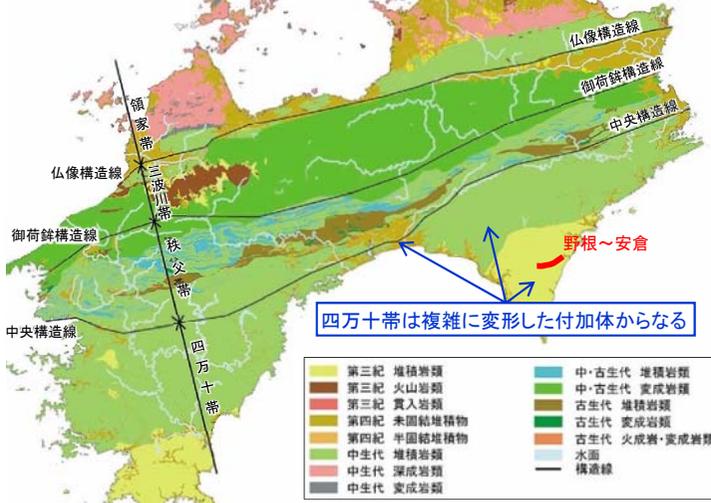
出典: 津波浸水予測域及び津波浸水予測区間
 H24.10「高知県版第2弾」南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について」公表資料に基づき作成
 名勝・天然記念物、史跡等: 高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区: 当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設: 学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)

5. 対応方針(素案)の検討(技術的な課題)

- 当該地域は、四万十帯に位置しており、地層は複雑に変形した付加体からなり、様々な地質が混ざりあった混在岩であることから、脆弱な地質であり、近年の豪雨により何度も災害が発生している。
- また、野根～安倉間は、高低差が大きく、長大トンネルの整備が必要であるが、大土被りによる変状・崩壊や突発湧水などのリスクに加え、避難坑や避難連絡坑、逆掘りによる排水対策など、技術的課題が大きい。



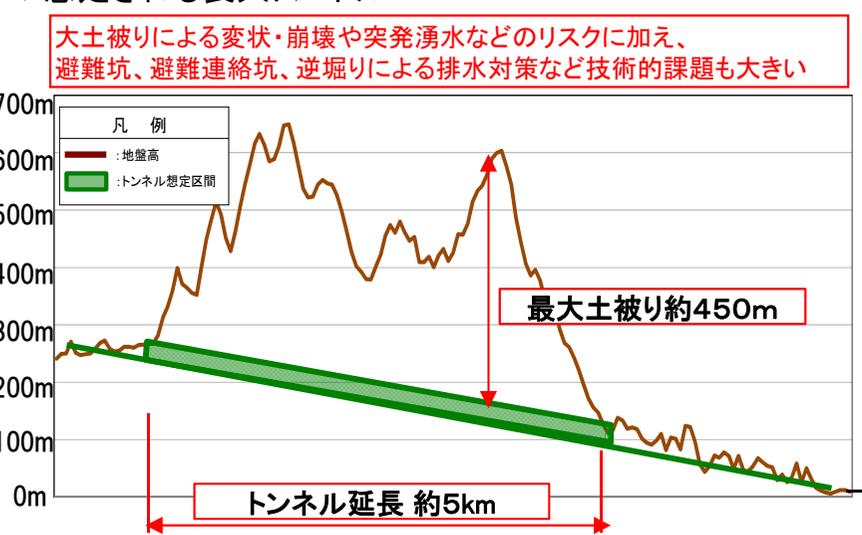
▼地質特性 (四国の地質図)



〈付加体の形成イメージ〉



▼想定される長大トンネル



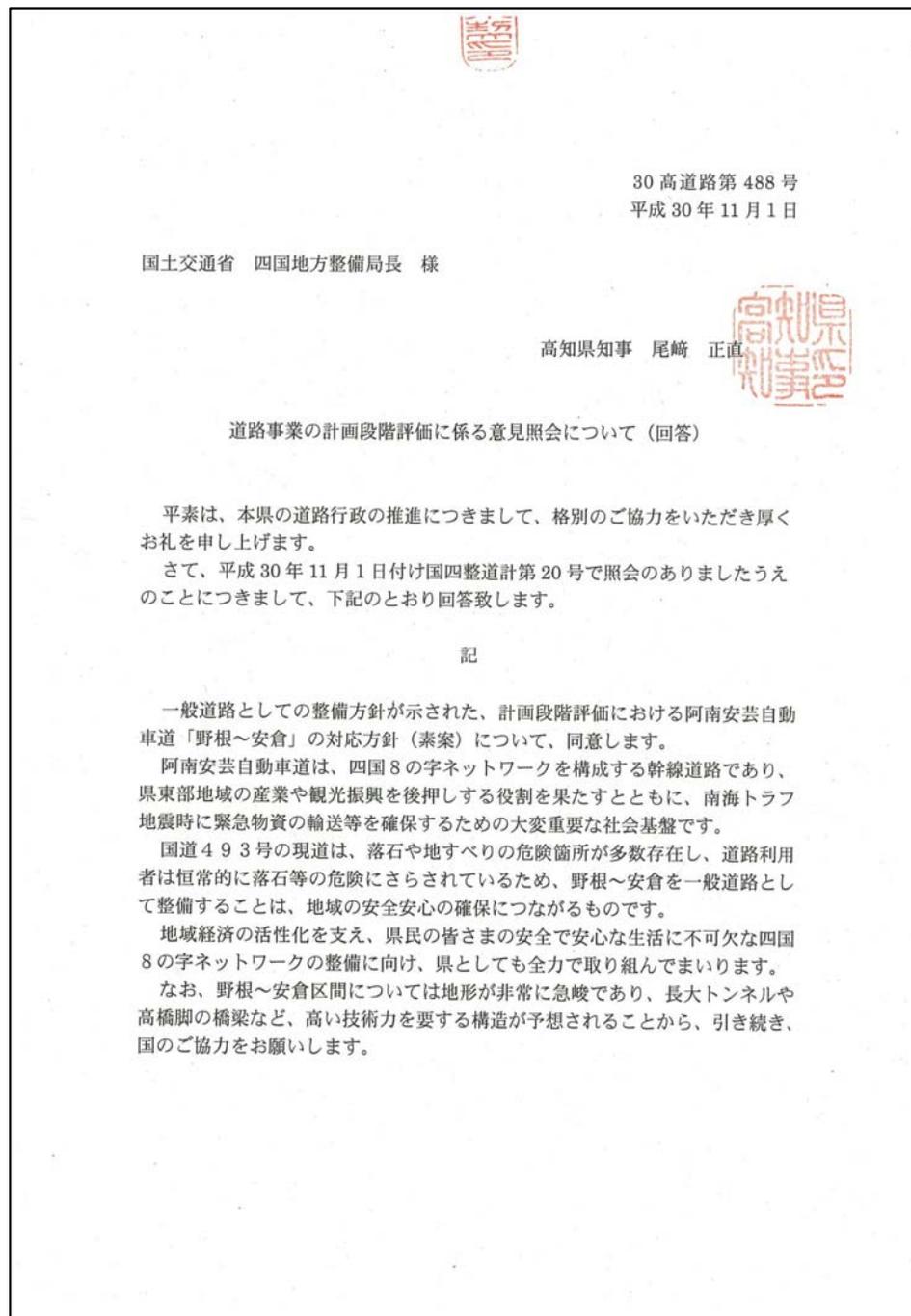
出典: 四国地方の古地理に関する調査報告書(国土交通省四国地方整備局、国土地理院) 地質調査総合センターHP

6. 自治体への意見照会結果

■意見照会の回答

自治体名	意見
高知県	<p>○一般道路としての整備方針が示された、計画段階評価における阿南安芸自動車道「野根～安倉」の対応方針(素案)について、同意します。</p> <p>○阿南安芸自動車道は、四国8の字ネットワークを構成する幹線道路であり、県東部地域の産業や観光振興を後押しする役割を果たすとともに、南海トラフ地震時に緊急物資の輸送等を確保するための大変重要な社会基盤です。</p> <p>○国道493号の現道は、落石や地すべりの危険箇所が多数存在し、道路利用者は恒常的に落石等の危険にさらされているため、野根～安倉を一般道路として整備することは、地域の安全安心の確保につながるものです。</p> <p>○地域経済の活性化を支え、県民の皆さまの安全で安心な生活に不可欠な四国8の字ネットワークの整備に向け、県としても全力で取り組んでまいります。</p> <p>○なお、野根～安倉区間については地形が非常に急峻であり、長大トンネルや高橋脚の橋梁など、高い技術力の要する構造が予想されることから、引き続き、国のご協力をお願いします。</p>
東洋町	<p>○阿南安芸自動車道(野根～安倉)における対応方針(素案)については、異存ありません。</p> <p>(1)道路整備の必要性 阿南安芸自動車道は、交流人口の拡大や地域産業・観光の発展に必要なことはもとより、南海トラフ大地震発災時には命をつなぐ「命の道」として信頼性の高いネットワークの確保、代替路の確保として必要だと考えています。</p> <p>(2)ルート帯について 『案②』が妥当と考えています。</p> <p>(3)その他 歩行者・自転車等の安全性や整備期間の短縮など自然環境や生活環境等への影響にもご配慮をお願いします。</p> <p>○四国8の字ネットワークの早期整備のためにも「野根～安倉」間につきましては、早期に事業化されますよう特段のご配慮をお願いします。</p>
北川村	<p>○豪雨や自然災害により通行止めになりにくく、125CC以下の自動二輪車などの自動車以外も通行可能となる一般道路として安全で安心して利用できること。また、自然環境や生活環境への影響が少ないことにも優れており、「案②」が妥当と考えます。</p> <p>○阿南安芸自動車道は、防災・減災に資するほか、南海トラフ地震の際、高知県東部への緊急物資輸送や復興へのライフラインの骨格を成す命の道としての重要な路線となります。</p> <p>○また、物流に関して、貨物車での関東及び関西への搬送時間が1日短縮し、北川村特産物である「ゆず」などの農作物の輸送効率が向上し産業振興に貢献します。更に、交流人口に関して、関西周辺からの移動時間が短縮され、北川村の観光地であります「モネの庭」等が日帰り圏域となり、周遊エリアや滞在時間が拡大し、観光振興にも大きく寄与します。</p> <p>○四国8の字ネットワークの早期整備のためにも、「野根～安倉」間につきましては、早期に事業着手していただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。</p>

■意見照会の回答(高知県知事)



30 高道路第 488 号
平成 30 年 11 月 1 日

国土交通省 四国地方整備局長 様

高知県知事 尾崎 正直



道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平素は、本県の道路行政の推進につきまして、格別のご協力をいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、平成 30 年 11 月 1 日付け国四整道計第 20 号で照会のありましたうえのことにつきまして、下記のとおり回答致します。

記

一般道路としての整備方針が示された、計画段階評価における阿南安芸自動車道「野根～安倉」の対応方針(素案)について、同意します。

阿南安芸自動車道は、四国 8 の字ネットワークを構成する幹線道路であり、県東部地域の産業や観光振興を後押しする役割を果たすとともに、南海トラフ地震時に緊急物資の輸送等を確保するための大変重要な社会基盤です。

国道 493 号の現道は、落石や地すべりの危険箇所が多数存在し、道路利用者は恒常的に落石等の危険にさらされているため、野根～安倉を一般道路として整備することは、地域の安全安心の確保につながるものです。

地域経済の活性化を支え、県民の皆さまの安全で安心な生活に不可欠な四国 8 の字ネットワークの整備に向け、県としても全力で取り組んでまいります。

なお、野根～安倉区間については地形が非常に急峻であり、長大トンネルや高橋脚の橋梁など、高い技術力を要する構造が予想されることから、引き続き、国のご協力をお願いします。

■意見照会の回答(東洋町長・北川村長)

30東産業第145号
平成30年11月1日

国土交通省四国地方整備局長 様

高知県安芸郡東洋町長 松延 宏幸 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成30年11月1日付け国四整道計第20号で照会のありましたことについて、下記のとおり回答いたします。

記

1 回答

阿南安芸自動車道(野根～安倉)における対応方針(素案)については、異存ありません。

(1) 道路整備の必要性

阿南安芸自動車道は、交流人口の拡大や地域産業・観光の発展に必要なことはもとより、南海トラフ大地震発災時には命をつなぐ「命の道」として信頼性の高いネットワークの確保、代替路の確保として必要だと考えています。

(2) ルート帯について

『案②』が妥当と考えています。

(3) その他

歩行者・自転車等の安全性や整備期間の短縮など自然環境や生活環境等への影響にもご配慮をお願いします。

2 その他意見

四国8の字ネットワークの早期整備のためにも「野根～安倉」間につきましては、早期に事業化されますよう特段のご配慮をお願いします。

30北建発第142号
平成30年11月1日

国土交通省四国地方整備局長 様

高知県安芸郡北川村長 上村 

道路事業の計画段階評価に係る意見照会について(回答)

平成30年11月1日付け国四整道計第20号で照会のありました、阿南安芸自動車道 野根～安倉 における四国地方整備局としての対応方針(素案)における意見照会について回答いたします。

豪雨や自然災害により通行止めになりにくく、125CC以下の自動二輪車などの自動車以外も通行可能となる一般道路として安全で安心して利用できること。また、自然環境や生活環境への影響が少ないことにも優れており、「案②」が妥当と考えます。

阿南安芸自動車道は、防災・減災に資するほか、南海トラフ地震の際、高知県東部への緊急物資輸送や復興へのライフラインの骨格を成す命の道としての重要な路線となります。また、物流に関して、貨物車での関東及び関西への搬送時間が1日程短縮し、北川村特産物である「ゆず」などの農産物の輸送効率が向上し産業振興に貢献します。更に、交流人口に関して、関西周辺からの移動時間が短縮され、北川村の観光地であります「モネの庭」等が日帰り圏域となり、周遊エリアや滞在時間が拡大し、観光振興にも大きく寄与します。

四国8の字ネットワークの早期整備のためにも、「野根～安倉」間につきましては、早期に事業着手していただきますよう特段のご配慮をお願いいたします。

7. 対応方針(案)のまとめ

1. 道路整備の必要性

政策目標を実現できる道路整備を検討

【政策目標】

- ①南海トラフ地震に備えた信頼性の高いネットワークの確保
- ②走行性の向上による生活環境の改善
- ③走行性の向上により産業振興を支援
- ④地域間の交流促進により広域的な観光振興を支援



- 当該地域では、南海トラフ地震で震度7が予測されており、国道493号では揺れによる落石や土砂災害により通行止め、国道55号は津波により大部分が浸水すると予測
また、国道493号は、防災上危険な箇所が多数存在し、豪雨による事前通行規制や落石も発生、日常の通行に支障
- 地震津波、土砂災害発生時に地域の分断・孤立を解消、円滑な救命・救急活動のアクセスを確保、また、地域住民の安全性・利便性の向上及び産業・観光振興を支援するためには、信頼性・安全性・速達性・走行性に優れた道路の整備が急務
- 意見聴取結果でも、国道55号及び国道493号の代わりとして、豪雨や自然災害に強く、125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行することができる道路が重要という意見が多く、このような政策目標を実現できる道路の早期整備が強く望まれている。

2. 対応方針(案)

【ルート帯案について】

『案②区間延長を極力短くしたバイパス案(一般道路)』を対応方針(案)とする。

【理由】

- 案②は、案①③に比べ、全ての政策目標の達成が見込め、地域への意見聴取結果で重要との意見が多く寄せられた、「125cc以下の自動二輪車などの自動車以外も安全に通行できること」、「豪雨や自然災害により通行止になりにくいこと」、「生活環境(集落、田畑等)への影響が少ないこと」、「整備に要する期間が短いこと」という点で優れており、日常はもとより、地震・津波・土砂災害などの災害発生時においても、信頼性・安全性・速達性・走行性に優れた道路ネットワークを形成することができる。
- また、地域への意見聴取結果で、「早期整備(開通)」、「落石等が発生しない安全な道路の整備」を求める意見も多く、案②は地域のニーズにも応えられる。

3. その他

- 詳細なルート・構造の検討にあたって、長大トンネル区間を含め歩行者・自転車等の安全性や自然環境、生活環境等への影響、整備期間の短縮及びコスト縮減に配慮する。

○地域の課題である南海トラフ地震による津波および落石等の土砂災害発生時に、国道55号及び国道493号の代わりとして、地域の分断・孤立を解消し、円滑な救命・救援活動のアクセスを確保するとともに、125cc以下の自動二輪車等も含め走行可能とすることで走行性の向上による生活環境を改善、産業振興及び観光振興の活性化を支援することができ、早期整備が可能な一般道路としてのバイパスを整備。



新たに一般道路を整備する区間 延長約9km

阿南安芸自動車道 野根～安倉

凡 例			
	一般国道(直轄国道)		市街地(集落)
	一般国道(補助国道)		津波予測浸水域
	一般県道		地すべり危険箇所
	市役所・町役場(支所)		公園
	公共施設		鳥獣保護区
	病院		
	名勝・天然記念物		
	史跡		

出典：津波浸水予測域及び津波浸水予測区間
 H24.10【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による震度分布・津波浸水予測について「公表資料に基づき作成
 名勝・天然記念物、史跡等：高知県教育委員会資料 東洋町・北川村の教育委員会資料
 鳥獣保護区：当該地域に鳥獣保護区として指定された区域はない
 公共施設：学校(小・中・高)、消防署、警察署等公共施設
 ※この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分1地形図を複製したものである。(承認番号 平30四複、第32号)